清新第三小学校応援団実践報告書

１　校長及び代表者氏名

清新第三小学校長　　　　佐藤　繁則
　　　　　　　代表　　　　田所　恭子

２　今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	夏・冬のパトロール 運動会 マラソン大会 ラジオ体操 安全教室	○夕方、夜間の学区域パトロール ○会場作り、開催時の警備 ○マラソンコースの安全確保 ○夏休みの生活リズムつくり ○セイフティ・自転車免許・交通安全・薬物乱用防止等の警察との連携、企画・運営
学習活動	伝統工芸体験 国際理解集会 生活科校外学習見守り	○社会科学習での伝統工芸作品作りの支援をする。 ○外国文化などをゲストティーチャーとして紹介する ○見学時の安全を見守る
読書活動	こびとの本屋さん おはなし宅急便	○毎月１回、図書室環境整備、本の修理などを行う。 ○朝の読み聞かせ、学期一回、ロングで読み聞かせ。
環境整備	オヤジの会等 赤い花を育てよう会	○校庭の側溝や雨どいの清掃 ○フラワーポットの花づくり、草刈り
学校運営支援	ベルちゃんスタッフ 空き缶リサイクル	○ベルマーク活動支援 ○空き缶リサイクル活動支援

３　学校応援団組織図（　清新第三小学校の学校応援団のつながり）

民生児童委員

学校評議員

清新第三小学校学校応援団運営委員会
校長・応援団代表・副校長（学校の担当窓口）

地域自治会

清新臨海地区
教育協議会

学 校 応 援 団

学習支援
＜読書活動＞
・おはなし宅急便
・小人の本屋さん
＜授業の支援＞
・校外学習・見学の補助
・各学年 PTA
＜国際理解集会支援＞
・外国経験のある保護者
・地域の方々

環境支援
＜環境整備＞・おやじの会
・花を植えよう会

学校運営支援
＜各ボランティア活動＞
・三小まつり
・ふれあいまつり
・こだま作成
・ベルマーク運動
・空き缶リサイクル活動
＜すくすくスクール
サポートセンター＞

安全・健全育成支援
・安全安心パトロール
腕章運動
・交通安全教室
・セイフティ教室
・薬物乱用防止教室
・地域パトロール
PTA、おやじの会
・運動会・マラソン大会などの安全管理

4　今年度の成果と今後の課題

＜成果＞

「子どもたちのために、できることをできるときに」という合言葉のもと PTA を中心にボランティアとしての活動が今年度も充実していました。読み聞かせの「おはなし宅急便」も新たなメンバーを迎え、また、わが子が小学校を卒業したあとも活動を続けてくださる方もいました。図書ボランティアの「小人の本屋さん」や父親たちを中心にした「オヤジの会」も自分たちから子どものために何ができるかと考え、活動を充実させています。

＜国際理解集会＞

学校でも、国際理解集会に向けて、どの学年の依頼でも協力いだだける方を募ろうと「国際理解ボランティア」の名簿を作成したところ大勢の方が快くお引き受けいだだき、地域人材の活用も一歩前進できました。「子ども達のためなら喜んで」と、どの方もおっしゃっていただけることは有難いことです。

学校も地域・保護者も同じ方向をむき、共に子どもたちのためにできることをしようとする気持ちが続いていることが一番の成果です。

＜課題＞

＜オヤジの会側溝清掃＞

国際理解ボランティアの募集の様に目的や方法のはっきりしているものは人材も集めやすいことが分かりました。他にも応援を依頼できることはあるだろうが、人材集めや調整など、以外に時間がかかり、担当は苦労が大きく、先々のことを考えて計画性をもって人材集めを行うことが課題です。

連絡・会計等、管理職が窓口になることが多く、オヤジの会の側溝の清掃などの様に、土日での活動もあり、一般の教員が共に参加していくことは日常的には難しいこともありました。応援団の活動を教職員、児童、保護者の方々に伝えていくことも今後取り組んでいきたいと思います。

5　代表より

清新第三小学校は開校当初から「地域に開かれた学校」として、在校生保護者は勿論、卒業生やその保護者をはじめする地域の方々に、広く学校生活をサポーターして頂いております。今年度も、国際理解集会等で豊富な知識や体験を披露して下さるゲストティーチャーの方々、素敵な読み聞かせの時間を提供して下さるボランティアグループの方々、行事や校外学習の際の児童の安全確保や学校施設の修繕・整備等目にふれないところで力をお貸し下さる方々・・・。代々受け継がれる「できることを・できるときに」のモットーを崩すことなく、学校経営方針に即した活動を行うことができました。今後とも学校応援団という名前の通り、さらに多くの方と子どもたちのために尽力して参ります。

代　表　田所　恭子

6　学校長より

本校の学校応援団は「できることを・できるときに」を基本に置いて活動が進められています。とは言うものの、日頃の活動を見ていると、本当に意欲的に計画的に諸々の活動が進んでいることに驚きを感じます。応援団活動にかかわっていただいている皆様が学校を愛し、子どもたちを愛しているからこそできる活動なのだと思います。

今年度も、応援団として活動された多くの方々の協力をいただきました。「学校は地域とともにある」まさにこの基本理念が現実のものとして花開いています。一年間、ありがとうございました。これからも着実な歩みを学校応援団とともに進め、すばらしい実を結ぶように祈念しております。

校　長　　佐藤　繁則